

佐久千曲川大花火大会 2023年、61回をもって終了へ

要旨

本花火大会の実行委員会を構成している、のぞわ商店街振興組合と中込商店会協同組合では、担い手不足・役員の高齢化・責任の大きさなどの理由で、来年以降の花火大会を主催しないことを決定した。

経緯

本花火大会は1961年から毎年お盆の8月15日に開催している。コロナ禍で2020、2021年に中止としたほかは毎年開催し、2023年で61回だった。8/15に開催するということで、「花火大会があるから帰省する」「花火大会に合わせて同窓会をする」という話をする地元出身者も大勢いて、佐久広域に及ぶ地域振興、千曲川流域を代表する夏の風物詩としての役割を担って来た。

商店街の中には「せっかく街の先人たちが頑張ってきた花火大会だから継続したい」という意見も少なからずあるが、ここ数年は冒頭のような厳しい状況下での開催から抜け出せないため、野沢、中込のそれぞれの組合理事会で議論を重ね前述のような苦渋の決断に至った。

主催しない理由の詳細

- 1、担い手不足…商店街の店舗が減っていることに加えて、各個店の従業者数も減っていて、以前なら家族に店番を任せて店主が花火大会の準備作業をするということもできたが、現在は店主一人で営業している場合が多く、店を休まないといけないようなイベント等の作業ができない。
- 2、役員の高齢化…以前にはなかったミスが増えた。体力的に無理ができない。
- 3、責任の大きさ…昨今のイベントでの事故のニュースを見ると、どんなに参加者や観客に責任があっても、それを未然に防げなかった「主催者の責任」とされることが多い。本花火大会の実行委員会は商店会役員のみで構成しているが、無報酬で商売を犠牲にしてイベントの準備&実施をする上に自分たちが関係ないところまで責任を追及され、その対応で忙殺されるということが予想されるため、このような事業からは手を引いた方が良いという結論に至った。

付記

- 1、コロナ禍で2年開催しなかったが、その時は特段の影響はなかった。
- 2、本花火大会では市内外の理解ある数多くのスポンサーからの不断の賛同もあり、打ち上げ花火代はもちろんのこと警備料やごみ処理費用が収支を圧迫するようなことはない。

〒385-0051 佐久市中込 2-26-3 佐久千曲川大花火大会実行委員会
Tel 0267-62-5714 Fax 0267-62-0361 Mail info@nakagomi.jp
構成団体 のぞわ商店街振興組合・中込商店会協同組合
実行委員長 三石 仁 三六家具センター Tel 0267-62-0168

送信先が間違っている場合はご面倒でもご返送ください。 FAX 0267-62-0361

御社名

正しいFAX番号